

成果

県庁内の意識を変革 4年間で多くの挑戦と成果

新しい豊かさ

- ◆成長分野等の企業誘致の推進
- ◆儲かる農業に向けた取組

新しい安心安全

- ◆医師不足緊急対策
- ◆健康長寿日本一（減塩キャンペーン）
- ◆東日本台風における迅速・適切な対策

新しい人財育成

- ◆県立高等学校改革
- ◆才能を發揮できる教育プログラムの創設
- ◆性的マイノリティへの支援
- ◆保育サービスの充実

新しい夢・希望

- ◆県有施設の磨き上げ、魅力の再発信
- ◆いばらきサイクルツーリズム構想の推進

課題

◆時代は、予測困難な 「非連続の時代」へ

- ・人口減少
- ・米中摩擦の激化
- ・AIの進歩による社会構造の変化
- ・気候変動 etc

◆「活力があり、県民が 日本一幸せな県」に 向けた施策推進の 考え方の進化

- ・県民に響く計画の打ち出し
- ・「幸福」に関する尺度の設定

策定におけるポイント

4つのチャレンジを継続するとともに、新たな視点を示す

◆県民幸福度No.1への挑戦 (いばらき幸福度指標（仮称） の導入)

◆時代の変化への対応

- ・新型コロナ対策（ポストコロナ対策）
- ・カーボンニュートラル
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）

◆PDCAサイクルの確立 (数値目標の考え方の整理)



新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

★成長分野等の企業誘致を推進

- ・ 4年間で、それ以前の約**20**年分に相当する公共工業団地を分譲
- ・ 最大50億円の全国トップレベルの補助制度等を創設し、これまでに本社機能移転強化促進補助金等の計画**22**件を認定

▼企業へ認定書を交付



★「儲かる農業」に向けた取り組みを推進

- ・ 茨城と言えば「**かんしょ**」と言われるような圧倒的なシェア獲得に向けR元年から2年間で県内で**300**ha以上の面積を拡大
- ・ 梨「**恵水**」と豚肉「**常陸の輝き**」のトップブランド化に向けた都内高級果実店での販売等（1玉8,640円の「**幻の恵水**」が大きな話題に）



政策の進捗状況

- 1 質の高い雇用の創出
- 2 新産業育成と中小企業等の成長
- 3 強い農林水産業
- 4 多様な働き方
- 5 かけがえのない自然環境の保全・再生

区分	2018	2019	2020
順調である	1	3	2
成果をあげつつある	3	2	3
取組の強化が求められる	1	—	—



新しい安心安全へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

★地域医療を守るための医師不足緊急対策

最優先で医師確保を行う病院・診療科を選定のうえ、重点対策を講じ
第1次目標で必要医師 **14名中13.1名**を確保



▲最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科
(写真は茨城県西部メディカルセンター病院)

★健康長寿日本一を目指し、県民の減塩の取組を推進

生活習慣病予防を図るため、県内のスーパーと連携し、減塩商品特設コーナーの設置
一定条件を満たす適塩メニューを提供する飲食店を「**いばらき美味しおスタイル指定店**」として指定



★東日本台風における迅速・適切な支援

発災後 **1ヶ月時点**で罹災証明書 **8割**以上の交付を終了 (申請の3割程度の県もあり)
被災後 **1ヶ月**で本県独自の支援策を含めた**関係予算を編成** (常総水害より約1ヶ月時間短縮)
被災した中小企業等の事業再開・継続に必要な施設整備等を、**県では限度額を設けず支援**

政策の進捗状況

- 6 県民の命を守る地域医療・福祉
- 7 健康長寿日本一
- 8 障害のある人も暮らしやすい社会
- 9 安心して暮らせる社会
- 10 災害に強い県土

区分	2018	2019	2020
順調である	2	1	1
成果をあげつつある	3	4	3
取組の強化が求められる	—	—	1



新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

★県立高等学校改革

- ・2020以降、**中高一貫教育校10校**を設置
- ・2022年度以降、「大学・研究機関と連携したサイエンス専科高校」や「IT専科高校」等**4校**を全国初、県内初の特色を有する学校に順次改編

▼IBARAKI ドリーム・パス AWARD表彰式の様子 (R3.3.14)



★英語、プログラミング、スポーツなど、才能を遺憾なく発揮できる教育プログラムの創設

- ・英語の学習意欲・能力の高い中高生に、トップレベルの英語力や思考力を育成
- ・オリンピック等で活躍するアスリートの輩出を目指し、優れた選手をジュニア世代から発掘・育成
- ・IBARAKI ドリーム・パス事業等による、変化の激しいこれからの時代を「生き抜く力」を養成

★性的マイノリティへの支援

「**パートナーシップ宣誓制度**」の創設（都道府県初）

★保育サービスの充実

待機児童が大幅に減少（H29 516人→R3 13人）

政策の進捗状況

	区分	2018	2019	2020
11 次世代を担う「人財」	順調である	2	4	1
12 魅力ある教育環境	成果をあげつつある	2	1	4
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	取組の強化が求められる	1	—	—
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城				
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会				



新しい夢・希望へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。

★県有施設の磨き上げ、魅力の再発見・再発信

- ・民間企業の経営感覚と発想を活かし、「見る」から五感で「感じる」
いばらきフラワーパークに刷新（4/29、開園以来初の全面リニューアル）
- ・**アクアワールド茨城県大洗水族館**に昨年4月から、民間出身の館長を登用。
「夜の水族館の魅力向上」をテーマに、昨年12月リニューアル



◀リニューアルオープンしたフラワーパークのレストラン（ローズファームハウス）

▶「夜」でも楽しめる水族館へ



★いばらきサイクルツーリズム構想の推進

- ・世界に誇りうるサイクリングルートとして、しまなみ海道、ビワイチと並び「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が**第1次ナショナルサイクルルート**に指定
- ・JR土浦駅直結のサイクリングホテルとして、「**星野リゾートBEB5土浦**」の誘致に成功



◀サイクリングホテル「星野リゾートBEB5土浦」

政策の進捗状況

- 16 魅力度No.1プロジェクト
- 17 世界に飛躍する茨城へ
- 18 ビジット茨城 ～新観光創生～
- 19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功
- 20 活力を生むインフラと住み続けたいまち

区分	2018	2019	2020
順調である	3	3	3
成果をあげつつある	2	2	—
取組の強化が求められる	—	—	2

新しい県総合計画策定に向けた議論のポイント

◆県民幸福度No.1への挑戦（いばらき幸福度指標（仮称）の導入）

- ・「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、**県民の幸せの実現に向けた環境の整備・充実状況を定量的に把握**する指標を設定

◆時代の変化への対応

・新型コロナウイルス感染症（ポストコロナ）への対応

ポストコロナやデジタル社会の到来を見据えた取組など、本県を取り巻く大きな環境の変化に対応した施策を展開する必要

・カーボンニュートラルの実現

世界各国では、2050年までのカーボンニュートラルに向けた動きが加速化
国においては、「2050年カーボンニュートラル」を宣言
本県においても、再生可能エネルギーの導入や大規模事業所での**産業構造の転換につながる取組が必要**

・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

行政手続きのオンライン化をはじめ、民間におけるDXの取組の加速化 等

◆PDCAサイクルの確立（数値目標の考え方の整理）

- ・分析・評価からスピード感を持った施策展開等につなげていくため、以下の考えで目標を再整理
 - ◆県の取組が直接成果に反映されること
 - ◆当該年中に実績がある程度把握できること
 - ◆成果（アウトカム）を表す項目であること
 - ◆知恵を絞らなければ達成できない難易度であること